

2. 研究所の組織運営

2.1 当該年度の組織変更

2.1.1 教職員組織

令和 3 年度

3 月 31 日 第 3 期中期目標期間における 5%シーリング分の定員削減（准教授 1 減、助教 6 減）

令和 4 年度

4 月 1 日 5%シーリングによる定員削減（准教授 1 減、助教 5 減）

再配置定員准教授 1 が定員内の変更（准教授 1 増）

5 月 1 日 産学共同研究部門アートイノベーション（凸版印刷）研究領域設置

8 月 1 日 地震・火山研究グループ改組

2.1.2 教職員定員数の推移

年度	教授	助教授 ↓ 准教授	助手 ↓ 助教	技術 職員	計	備考
平 12	34	38	35	30	137	事務部, 宇治地区事務部に統合
平 13	34	38	35	28	134	
平 14	34	38	34	26	132	
平 15	34	38	34	26	132	
平 16	34	38	34	25	131	法人化に伴い技官・事務官の名称は廃止
平 17	34	38	34	25	131	改組, 4 グループ制導入
平 18	34	38	34	25	131	
平 19	34	38	34	25	131	
平 20	34	38	33	24	129	
平 21	34	38	33	23	128	
平 22	34	38	33	23	128	
平 23	34	38	33	23	128	
平 24	34	38	33	23	128	
平 25	34	38	33	23	128	
平 26	34	38	30	23	125	
平 27	34	38	28	23	123	
平 28	34	37	28	23	123	
平 29	34	35	28	23	120	
平 30	33	35	28	21	117	
令 1	33	34	28	21	116	
令 2	33	34	28	21	116	
令 3	34	35	23	21	113	
令 4	34	35	17	21	114	5%シーリングによる定員削減（准教授 1 減、助教 5 減） 再配置定員准教授 1 が定員内の変更（准教授 1 増） 産学共同研究部門アートイノベーション（凸版印刷）研究 領域設置 地震・火山研究グループ改組

注) 平成 19 年度以降再雇用職員振替分を含む
若手重点戦略定員、外国人再配置定員、特定教員、特任教員は含まない

2.1.3 防災研究所職員数・職員構成
 令和 4 年度

[単位:人]

	令和4年度(R5.3.31現在)																
	常勤										併任 教員数	非常勤					総数
	現員数	任期制導入状況										現員数					
		(女性数)	(外国人数)	(若手数 未 満 (4 0 歳 以下 (3 5 歳 以下))	(若手数 未 満 (4 0 歳 以下))	(任期付教員数)	(女性数)	(外国人数)	(若手数 未 満 (4 0 歳 未 満 (3 5 歳 以下))	(若手数 未 満 (3 5 歳 以下))			(女性数)	(外国人数)	(若手数 未 満 (4 0 歳 未 満 (3 5 歳 以下))	(若手数 未 満 (3 5 歳 以下))	
教授	36	(2)	(5)	(0)	(0)	(6)	(1)	(3)	(0)	(0)	0	5	(0)	(0)	(0)	(0)	41
准教授	36	(3)	(3)	(4)	(2)	(3)	(0)	(1)	(1)	(1)	0	2	(1)	(0)	(0)	(0)	38
講師	2	(1)	(2)	(0)	(0)	(1)	(0)	(1)	(0)	(0)	0	5	(2)	(0)	(0)	(0)	7
助教	28	(6)	(6)	(18)	(15)	(17)	(6)	(5)	(14)	(13)	0	0	(0)	(0)	(0)	(0)	28
助手	0	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	0	0	(0)	(0)	(0)	(0)	0
技術職員	19	(3)	(0)	(10)	(8)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	0	70	(35)	(0)	(48)	(48)	89
事務職員	5	(5)	(1)	(0)	(0)	(4)	(4)	(1)	(0)	(0)	0	81	(60)	(16)	(28)	(28)	86
その他	11	(1)	(7)	(9)	(7)	(11)	(1)	(7)	(9)	(7)	0	30	(7)	(5)	(6)	(4)	41
合計	137	(21)	(24)	(41)	(32)	(42)	(12)	(18)	(24)	(21)	0	193	(105)	(21)	(82)	(80)	330

※()は現員数の内数

○その他人員(R5.3.31現在)

【常勤】特定研究員 11名
 【非常勤】研究員(非常勤) 22名、労務補佐員 1名、派遣職員 7名

グループ・部門・センター	教授	准教授・講師	助教	非常勤職員	非常勤研究員等
総合防災研究グループ (グループ長: 多々納 裕一 R4.4.1~R5.3.31)					
社会防災研究部門 (部門長: 多々納 裕一 R4.4.1~R5.3.31)					
都市空間安全制御	境 有紀	西野 智研		伊藤 晴子(派) (兼)・岡田 達司 (派)	
都市防災計画	牧 紀男	関口 春子		山岡 孝子 (t)	
防災技術政策	佐山 敬洋	LAHOURNAT, Florence	YAMAMOTO, Eva Mia Siska (特)	井上 園(兼)・才寺 香織	菅原 快斗(特)・Sophal Try(学・外)・寶 馨 (k)・BAIG, Muhammad Sohaib (k)・LY, Steven (k)
防災社会システム	多々納 裕一◎・ ALEXANDER, David Eric (特別 招へい教授)	SAMADDAR, Subhajyoti・藤 見 俊夫	LIU, Huan (特)	加藤 靖代・蘆田 稜・ SHIWOMEH, Desmond Ndre	HA, Si (特)・マシュー ズ 歩来 (g)
地域医療 BCP 連携	大鶴 繁(連携)・ 牧 紀男(兼)	趙 晃 济(連 携)・倉田 真宏 (兼)		出口 友佳理[京大病 院]	
国際防災共同研究(客員)	BARD, Pierre Yves☆				ROY, Sudip※(招へい 研究員)
地震リスク評価高度化(寄 附)			伊藤 恵 理 (特)	伊藤 晴子(派) (兼)	川瀬 博(寄附研究部門 教員)・SUN, Jikai (特)
附属巨大災害研究センター (センター長: 畑山 満則 R3.4.1~R5.3.31)					
巨大災害過程	矢守 克也	大西 正光	中野 元太	酒井 順子(支)・西 田 真理子 (t)	岡田 夏美(特)・杉山 高志(k)・大門 大朗 (学)
災害情報システム	畑山 満則◎	廣井 慧		清水 豊子	藤田 翔乃(学)・ GOLTZ, James Dennis

					(学・外)
災害リスクマネジメント	Ana Maria CRUZ			宮内 智子・ミネルビーノ 利花	Namulun (r)
歴史災害史料解析 (客員)	山 泰幸☆	竹内 裕希子☆			
地域災害 (客員)	梶谷 義雄☆	宮川 祥子☆			
国際災害情報ネットワーク (客員)	許 瓊文☆				
アートイノベーション (凸版印刷) (産学共同)	土佐 尚子 (特)		PANG, Yunian (特)	西村 千鳥	櫻井 繁樹 (k)・中村 伊知哉 (k)・中津 良平 (k) [土佐研: 吉田キャンパス]
地震・火山研究グループ (グループ長: 岩田 知孝 R4.4.1~R5.3.31)					
地震防災研究部門 (部門長: 岩田 知孝 R4.8.1~R5.3.31)					
地震発生機構		山田 真澄		松島 正美 (兼)	
強震動	岩田 知孝◎	浅野 公之		浅野 幸	
耐震基礎	澤田 純男	後藤 浩之		森 美穂 (兼)	栗間 淳 (学)
耐震機構	池田 芳樹	倉田 真宏		蒲生 千里	GIPSON, Jasmine Michelle (r)・LIN, Kun Sian (r)・SHEN, Shaodong (学・外)
附属地震災害研究センター (センター長: 澁谷 拓郎 R4.8.1~R5.3.31)					
地震情報	大見 士朗	片尾 浩	直井 誠	三和 佐知栄	井上 公 (k) [防災科技研]・野田 雄貴 (r)
宇宙測地		西村 卓也	徐 培亮・西川 友章・ROUET-LEDUC, Bertrand Philippe Gerard (特)		
内陸地震	飯尾 能久 (阿)・矢守 克也 (兼) (阿)	深畑 幸俊		秋月 美佳・田中 三恵 (t)・水島 理恵 (t)	佐藤 大祐 (学)・田中 秀実 (k)・阪口 光 (g) (阿)
海域地震	澁谷 拓郎◎	伊藤 喜宏	山下 裕亮 (宮)	坪内 まどか・平尾 由美香 (派)・森山 富士子 (派)・伊藤 久美子	GARCIA, Emmanuel Soliman Mortel (特)・岩堀 卓弥 (k) (宮)・井上 智裕 (学)
地盤震動	松島 信一	長嶋 史明		荒木 紀子	CHOU, Yu Ting (r)・QWANA, Calvin Luiramo (r)
地球計測		宮澤 理稔			THINZAR, Yadanar (r)
断層物理		野田 博之	山崎 健一 (宮)	戸高 可奈 (宮)	金木 俊也 (学)
地球物性 (客員)	小原 一成☆				
附属火山活動研究センター (センター長: 井口 正人 R4.4.1~R6.3.31)					
火山噴火予知 (桜)	井口 正人◎・岩田 知孝 (兼)・藤田 正治 (兼)・大見 士朗 (兼)	中道 治久・宮田 秀介 (兼)	山本 圭吾・山田 大志	武盛 照美・清水 里恵・池田 裕美 (t)・森田 依子 (t)・竹ノ下 いづみ (t)・三反田 めぐみ (t)・池田 幸美 (t) [鹿児島大学]	棚田 嘉博 (k)・小林 哲夫 (k)・瀧下 恒星 (学)
地殻流体 (宇治)	吉村 令慧		畑 真紀	松島 正美 (兼)	
巨大噴火 (桜)	筒井 智樹 (特)	為栗 健	味喜 大介 (特)		
地盤研究グループ (グループ長: 渦岡 良介 R4.4.1~R5.3.31)					
地盤災害研究部門 (部門長: 渦岡 良介 R4.4.1~R5.3.31)					
地盤防災解析	渦岡 良介◎	上田 恭平		谷 千佳子・石田 美穂 (兼)	XU, Jiawei (k)
山地災害環境		松四 雄騎	齊藤 隆志	北村 和子・森川 亜紀子 (派)・牧嶋 平 (派)	太田 義将 (学)
傾斜地保全		寺嶋 智巳		石田 美穂 (兼)	
附属斜面災害研究センター (センター長: 王 功輝 R4.4.1~R6.3.31)					

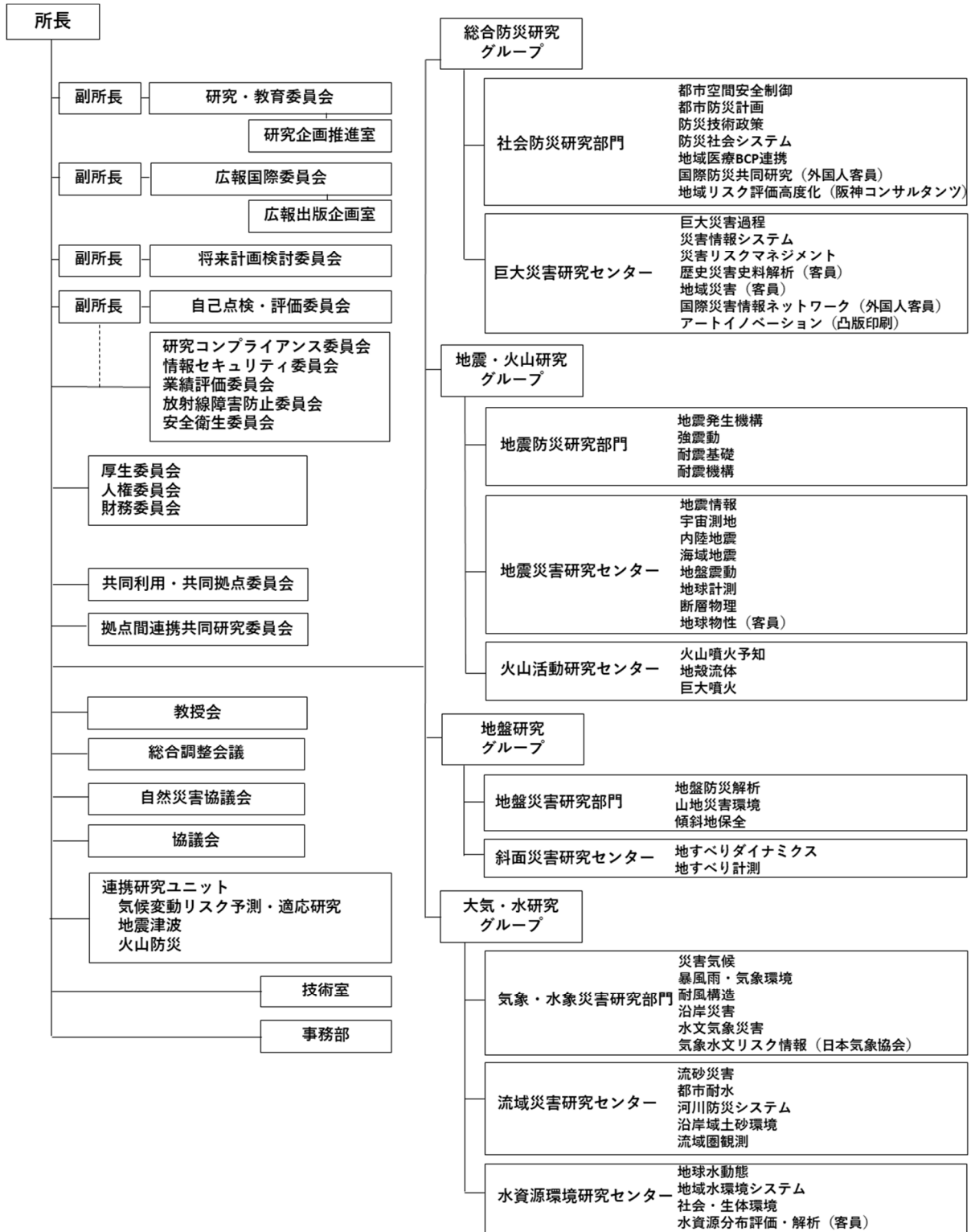
地すべりダイナミクス	王 功輝◎		土井 一生	中辻 久美子・石田 美穂 (兼)	劉 炳成 (r)・WU, Shengshan (r)・黄 超 (r)
地すべり計測		山崎 新太郎 (徳地)		森長 公仁 (t) (徳地)	荒井 紀之 (k) (徳地)
大気・水研究グループ (グループ長：竹見 哲也 R4.4.1～R5.3.31)					
気象・水象災害研究部門 (部門長：竹見 哲也 R4.4.1～R5.3.31)					
災害気候	榎本 剛	吉田 聡	井口 敬雄	西出 依子	小笠原 宏司 (r)・中下 早織 (学)
暴風雨・気象環境	竹見 哲也◎		堀口 光章	戸田 嘉子・丹治 星河 (t)	藤原 圭太 (特)・LEE, Shao-Yi (特)・佐藤 宏樹 (r)
耐風構造	丸山 敬	西嶋 一欽		登阪 美穂・久瀬 美紀・土井 こずえ (t)	
沿岸災害	森 信人	志村 智也・CHABCHOUB Amin (特・白眉)	宮下 卓也	神崎 景子 (t)・富永 ゆかり	HO, Tungcheng (特)・金平 大河 (特)・TSAI, Yu-Lin (特)・CHEN, Xinyu (r)
水文気象災害	中北 英一	山口 弘誠	仲 ゆかり	松本 充代・井上 園 (兼)・飯山 田・森本 慎子 (t) (兼)	大野 啓之 (学)・KIM, Hwayeon (学・外)
気象水文リスク情報 (寄附)	山路 昭彦 (特)	呉 映昕 (特)	山本 浩大 (特)	篠原 友美子	本間 基寛 (k)
附属流域災害研究センター (センター長：藤田 正治 R3.4.1～R5.3.31)					
流砂災害	藤田 正治 (宇)◎	竹 林 洋 史 (宇)		田中 佳代 (宇)	
都市耐水	五十嵐 晃	米山 望		森 美穂 (兼)・河津 ゆかり・横尾 真由美 (支)	石川 容平 (k)
河川防災システム	川池 健司 (宇)		山野 井 一輝 (宇)・小柴 孝太 (宇)	山本一美 (宇)	和田 桂子 (k) (宇)・鳥井 千恵 (g) (宇)
沿岸域土砂環境	平石 哲也 (宇)	BASIR, Noerdin (短期招へい講師)	張 哲維 (特) (宇)	松本 友理 (宇)	
流域圏観測	井口 正人 (兼) (穂)・大見 士朗 (兼) (穂)	宮田 秀介 (穂)・馬場 康之 (白)	今 井 優 樹 (白)	三浦 晴美	内山 清 (k) (大)・平原 珠麻 (g) (潮)
附属水資源環境研究センター (センター長：堀 智晴 R3.4.1～R5.3.31)					
地球水動態	堀 智晴◎		山田 真史	西川 洋子	
地域水環境システム	田中 賢治			沢田 裕美・古谷 千絵 (支)・小原 久恵 (兼)・森本 慎子 (t) (兼)	KHUMANAZA-ROV, Temur (特)・HU, Xue (r)
社会・生態環境	角 哲也	竹 門 康 弘・KANTOUSH, Sameh Ahmed		小原 久恵 (兼)・茨木 純子・森本 慎子 (t) (兼)	AHMED, Mohamed Saber Mohamed Sayed (k)・CHEN, Peng An (k)・BHARAMBE, Khagendra Pralhad (k)
水資源分布評価・解析 (客員)	天野 邦彦☆	瀧 健太郎☆			
連携研究ユニット					
気候変動リスク予測・適応研究 ユニット長：中北 英一 R2.6.1～R7.3.31	中北 英一 (兼) 多々納 裕一 (兼) 矢守 克也 (兼) 畑山 満則 (兼) 榎本 剛 (兼) 竹見 哲也 (兼) 丸山 敬 (兼) 森 信人 (兼) 藤田 正治 (兼)	渡部 哲史 (特) 峠 嘉哉 (特) 佐山 敬洋 (兼) SAMADDAR, Subhajyoti (兼) 藤見 俊夫 (兼)	宮下 卓也 (兼) 仲 ゆかり (兼) 山野 井 一輝 (兼) 山本 浩大 (特) (兼) LIU, Huan (特) (兼)	(工学) 立川 康人 市川 温 萬 和明 KIM, Sunmin (学館) 田中 智大 (学館) 山敷 庸亮	渡邊 紹裕 (k)

	川池 健司 (兼) 平石 哲也 (兼) 堀 智晴 (兼) 角 哲也 (兼) 田中 賢治 (兼) 渦岡 良介 (兼) 山路 昭彦 (特) (兼)	西嶋 一欽 (兼) 志村 智也 (兼) 山口 弘誠 (兼) 竹林 洋史 (兼) 吉田 聡 (兼) 呉 映昕 (特) (兼)		(農学) 中村 公人 濱 武英	
地震津波 ユニット長：平石 哲也 R3.8.1～R8.7.31 (平石ユニット長～R5.3.31)	平石 哲也 (兼) 多々納 裕一 (兼) 牧 紀男 (兼) 矢守 克也 (兼) Ana Maria CRUZ (兼) 渦岡 良介 (兼) 森 信人 (兼)	米山 望 (兼) 西野 智研 (兼) 藤見 俊夫 (兼) 西村 卓也 (兼) 伊藤 喜宏 (兼) 宮澤 理稔 (兼) 馬場 康之 (兼) 山田 真澄 (兼)	中野 元太 (兼) 山下 裕亮 (兼) 宮下 卓也 (兼) 張 哲維 (特) (兼)		
火山防災 ユニット長：井口 正人 R3.12.1～R8.3.31 (井口ユニット長～R6.3.31)	井口 正人 (兼) 多々納 裕一 (兼) 矢守 克也 (兼) 吉村 令慧 (兼) 竹見 哲也 (兼) 丸山 敬 (兼) 藤田 正治 (兼) 平石 哲也 (兼) 森 信人 (兼) 榎本 剛 (兼) 大見 士朗 (兼) 山路 昭彦 (特) (兼)	大西 正光 (兼) 西村 卓也 (兼) 中道 治久 (兼) 為栗 健 (兼) 竹林 洋史 (兼) 宮田 秀介 (兼) 吉田 聡 (兼)	井口 敬雄 (兼) 石井 杏佳 (特) (桜)		眞木 雅之 (k) (桜)
研究企画推進室	松島 信一室長 (兼)・畑山 満則教授 (兼)・王 功 輝教授 (兼)・堀 智晴教授 (兼)・浅野 公之准教 授 (兼)・西嶋 一欽准教授 (兼)・佐山 敬洋准教 授 (兼)			真田 奈生子 (派)	
広報出版企画室	渦岡 良介室長 (兼)・榎本 剛副室長・ マネージャー：佐伯 かおる (◇) ・ JAMES, Wilma Theonesta (◇) ・ 松浦 秀起 (技術職員 兼)			稲田 弘子	

技術室	技術職員	非常勤職員
室 長	吉川 昌宏	岡田 孝子 (t)
観測技術グループ	園田 忠臣 (桜)・久保 輝広 (白)・市田 児太郎 (穂)・小松 信太郎 (宮)・竹中 悠亮 (桜)	
実験技術グループ	富阪 和秀 (阿)・三浦 勉 (兼) (宇)・名田 彩乃・達山 康人	
機器開発技術グループ	三浦 勉 (宇)・富阪 和秀 (兼) (阿)・米田 格・中川 潤・長岡 愛理・中本 幹大 (宇)	
情報技術グループ	山崎 友也・松浦 秀起・澤田 麻沙代・川崎 慎吾・宮町 凜太郎	

◎…部門長, センター長 ☆…客員教員 (連携) …連携教員 ※…外国人研究員 (特) …特定教員・研究員 ◇…特定職員
(k) …非常勤研究員 (支) …支援職員 (g) …研究支援推進員 (s) …教務補佐員 (t) …技術補佐員 (l) …労務補佐
員 (r) …リサーチ・アシスタント (RA 経費) (学) …学振特別研究員 (学・外) …学振・外国人特別研究員 (派) …
派遣社員 (兼) …複数研究室兼務 (宇) …宇治川オープンラボラトリー (宇治) …宇治キャンパス勤務 (潮) …潮岬風力
実験所 (白) …白浜海象観測所 (穂) …穂高砂防観測所 (徳地) …徳島地すべり観測所 (大) …大渦波浪観測所 (上)
…上宝観測所 (阿) …阿武山観測所 (宮) …宮崎観測所 (桜) …桜島火山観測所 (休) …休職 (育休) …育児休業
[] 京大雇用の他大学等での勤務地

2.1.4 管理・組織運営
 令和 4 年度



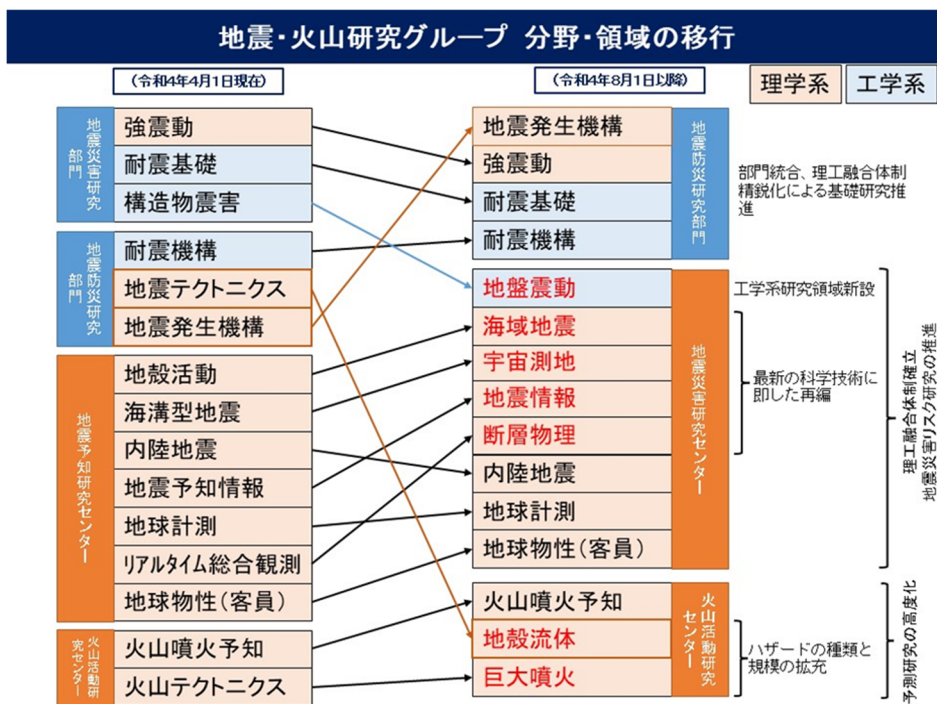
地震・火山研究グループは、これまで「地震災害」および「地震防災」の2研究部門と「地震予知」および「火山活動」の2附属研究センターから構成され、地震と火山噴火の発生と拡大のメカニズムを科学的に解明し、これら災害から人命と資産を守り、安全で安心な社会を確保するための諸技術・方策の開発や高度化に関わる基礎的・応用的研究を展開してきた。地震予知研究センターは地殻活動を的確に把握することにより、地震の発生過程の理解を進め「南海トラフ沿いの巨大地震」と「内陸地震」の予知研究を推進してきた。また、火山活動研究センターは桜島火山をテストフィールドとして「実践的な火山噴火予知」研究を進めてきた。

これまで地震予知研究センターにより得られた科学的知見から、今後数十年の間に南海トラフ沿いの巨大地震が確実に発生し、それに前後して内陸の活断層に関係する大地震も多く発生することが予測される。甚大な被害をもたらした2011年東日本大震災や2016年熊本地震後には、地震災害軽減のためには地震発生準備過程から地震発生と地震災害に関する研究の連携を一層進めることが必要不可欠であるという方向性が提起されている。迫りつつある南海トラフ沿いの巨大地震と内陸地震によって同様の地震災害を繰り返さないためには、地震発生予測研究の成果を災害軽減のための工学的アプローチに直結させる研究組織体制の早急な構築が必要である。

噴火発生前に警報が発表されず戦後最悪の火山災害となった2014年御嶽山噴火は、水蒸気噴火予測の難しさを浮き彫りにした。また、桜島ではマグマ蓄積量の増加から今後2,30年以内に大規模火山噴火発生が予測されており、火山活動研究センターの研究対象とするハザードの種類と規模の拡充によって発生予測研究の強化が必要である。

以上を踏まえ、地震・火山研究グループは、以下の目的を挙げ改組を提案し、令和4年8月1日付での改組が認められた。①地震予知研究センターでは工学系の研究領域を新設して理工融合体制を確立し、4研究領域で最新の科学技術に即した再編を行い、センター名を地震災害研究センターへと変更し、地殻活動モニタリング、地震発生場と地震発生過程の解明、地震動による建築物や社会インフラの被害推定など地震リスク評価に資する研究を実施する。②火山活動研究センターでは研究対象とするハザードの種類と規模の拡充を図るため、1研究領域ずつ新設・再編を行い、予測研究を高度化する。③2研究部門は統合して地震防災研究部門とし、従来の理工融合体制の下、地震断層破壊開始以降の災害発生の原理解明と減災対策などの地震ハザード評価に必須な基礎研究分野を担わせる。

改組後には、地震災害研究センターの領域数を7→8、火山活動研究センターは2→3と強化する一方、基礎研究を担う研究部門の分野数は6→4となった。



2.2 各種委員会

2.2.1 将来計画検討委員会

将来計画検討委員会では、防災研の中長期計画、新規人事に関する妥当性の議論（人事準備会）、内規等のルール、技術室の運営、隔地施設の運営等に関する事柄について検討を行っている。2022 年度における活動状況は以下の通りである。

2022 年度には、年度当初に 4 グループの研究目標、人事構想等を議論する戦略的人事ワーキングを開催し、ボトムアップの研究ニーズおよび人材育成についての議論を行い、年度計画を取りまとめた。任期付き助教を対象に若手研究者育成ワークショップを開催し、若手研究者の研究者育成について取り組んだ。ついで、研究所組織の理想像について、あるべき組織のイメージについて議論を行い、教授会での議論も踏まえて年度末に報告書として取りまとめた。これと並行して隔地施設の活性化のためのヒアリングを行い、隔地施設維持のためのベース費用についての見積もりと施設を活用した研究のあり方について議論を進めた。

2.2.2 研究・教育委員会

本委員会は、防災研究所における研究・教育に関する様々な検討を行う委員会である。当委員会での検討は執行部と密接に連携させるため、2005 年度から研究・教育担当の副所長が委員長を務めている。本委員会には、研究・教育に関する個別の課題検討を実施するため、教育専門委員会、図書専門委員会、研究企画推進室、DPRI シリーズ出版編集専門委員会の各専門委員会が設置されている。2022 年度は、松島教授（委員長）、畑山教授、池田教授、岩田教授（教育専門委員会委員長）、平石教授（図書専門委員会委員長）、丸山教授（DPRI シリーズ出版編集専門委員会委員長）、森下事務長、岡本専門職員、真田（研究企画推進室室員）で構成された。

防災研究所は、2009 年度に「自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点」として認定され、2010 年度から拠点としての活動を開始した。2022 年度からは拠点として 3 期目に認定された。拠点は共同利用・共同研究拠点委員会（以下、拠点委員会）により運営され、研究企画推進室がサポートしている。

本委員会では、防災研究所自然災害研究協議

会、京都大学研究連携基盤持続可能社会創造ユニット、東京大学地震研究所－京都大学防災研究所拠点間連携共同研究委員会の活動に関わる情報を集積し、所内に周知した。また、京都大学研究連携基盤の次世代研究者支援および防災研究所の女性・若手研究者支援、博士後期課程学生の学位論文支援等の審査を行った。さらに、2022 年度には令和 3 年度 DPRI Award の審査と授賞式および令和 4 年度 DPRI Award の募集を行った。

2.2.3 広報国際委員会

広報国際委員会は、広報国際担当副所長、広報・出版専門委員会、行事推進専門委員会、国際交流専門委員会、情報基盤専門委員会、世界防災研究所連合事務局の各専門委員会の委員長（ただし、世界防災研究所連合事務局は事務局長）、そして、技術室、広報出版企画室、担当事務の代表者から構成されている。令和 4 年度より評価公正担当副所長の設置に伴って、情報セキュリティ委員会は本委員会の所掌から外れている。毎月、委員会を開催して各専門委員会の活動内容を確認するとともに、必要に応じて審議を行い、その内容を教授会に報告している。

広報・出版専門委員会では、ホームページの更新、防災研紹介ビデオの作成、要覧の更新、ニューズレターの発行などを行った。

行事推進専門委員会では、令和 4 年度は新型コロナウイルスの感染防止に努めつつ、対面行事を開催した。第 33 回公開講座「多発する豪雨、水害、土砂災害に備える」は、広島県との共催で令和 4 年 10 月 4 日に広島県民文化センター多目的ホールで開催した。京大ウィークス 2022 では、宇治キャンパス、宇治川オープンラボトリー、阿武山観測所、潮岬風力実験所、徳島地すべり観測所、宮崎観測所で施設公開などを行った。令和 4 年度研究発表講演会を令和 5 年 2 月 21 日、22 日に宇治キャンパスで開催した。特別講演 3 件、災害調査報告 1 件、技術室報告 1 件、口頭発表 162 件、ポスター発表 44 件で、優秀発表賞 12 名、来場者 390 名であった。

国際交流専門委員会では、海外との MOU の新規締結や更新を実施した。令和 4 年度末時点で 70 件である。

世界防災研究所連合事務局では、第 6 回

GADRI グローバルサミットを令和 5 年 3 月 15 日～17 日に宇治キャンパスで開催した。31 の国と地域から 189 名の参加登録があった。

所長諮問に対して、防災研究所の歴史展示のあり方、防災研究所を目指したくなる広報ならびに中学校・高等学校との連携のあり方について検討し、歴史展示コーナーを本館 3 階入口に設置した。また、ホームページに防災のおすすめ書籍、防災研で学べる講座、防災研への出願方法を紹介した。

2.2.4 評価公正関係委員会

防災研究所の自己点検・評価や教員評価などへの評価事項への対応強化、ならびに不正防止や研究公正などへの公正事項への対応強化を目的として、令和 3 年 2 月教授会にて副所長 4 名体制（評価公正担当副所長の追加）への移行が承認された。これを受けて、令和 4 年度より、評価公正担当副所長は、自己点検・評価委員会委員長を兼ね、研究コンプライアンス推進委員会・部局業績評価委員会・情報セキュリティ委員会・放射線障害防止委員会・安全衛生委員会について、委員長である所長や委員長・幹事を補佐することになった。

自己点検・評価委員会は、防災研究所の研究教育水準の向上を図り、本研究所の目的および社会氏名を達成するため、研究所の研究教育活動などの状況について自己点検・評価を行う委員会である。第 4 期中期目標期間において部局に求められる自己点検評価の充実に対応して、令和 4 年度以後は、毎年度の研究教育活動について年報 C として取りまとめることにした。令和 4 年度は、令和 2 年度および 3 年度の 2 か年度を対象とし、年報第 65 号 C として取りまとめ発行した。3 年毎の自己点検評価報告書については、その様式変更を含め、その在り方について検討を進めた。

研究不正防止・経理不正防止のために、評価公正副所長ならびに研究コンプライアンス委員会より総合調整会議・教授会を通じて e-Learning の受講など周知を徹底した。加えて、部局独自に新規採用教員向け講習会（4 月）と全構成員向け講習会（2 月）を開催した。全構成員向け講習会については、令和 3 年度のオンライン開催（124 名参加）に比較し、令和 4 年度のハイブリッド開催では参加者 208 名と参加者数が増加した。

研究コンプライアンス推進委員会は、所内規程に従って所内の研究コンプライアンスの推

進・充実・強化を進めている。

情報セキュリティ委員会は、平成 16 年に京都大学の情報セキュリティ対策に関する規程に基づいて設置された委員会であり、所長が委員長を務める。ネットワークのセキュリティ確保に関わる事項、ソフトウェアのライセンス監理、情報セキュリティ講習会の開催を通じた啓発活動などを担当している。

2022 年度においては、2021 年度末に情報セキュリティポリシー実施手順書が改定されたことを受けて、①新たな手順書に従って順次運用を行った。特に、システムのセキュリティチェックシートや、外部委託先へのセキュリティ要件が追加されている。次に、定期的実施する事項として、②情報セキュリティ e-Learning 未受講者への対応、および、所内 KUINS-II ホストの脆弱性診断を行った。また、臨機に対応するものとして、③情報インシデント（2 件）の対応を行った。

放射線障害防止委員会は、放射性同位元素等管理を適正に管理しており、令和 4 年度の委員会開催数は 2 回であった。

安全衛生委員会は、安全衛生巡視計画の策定時期を、従来 4 月・10 月であったところ、3 月・9 月に前倒しし、巡視担当の委員の選任を 8 月として、巡視を十分前もって周知することで、安全衛生に対する意識向上に努めた。また、巡視対象の研究室等を毎年少しずつずらすことで、研究室毎の巡視時期が毎年異なる季節に当たるような巡視計画を策定した。その他、フィールドワークでの安全確保に対する注意喚起、第一種衛生管理者免許取得のための諸経費の防災研究所負担の取り決めの策定など、安全衛生の取り組みを進めた。

以下に、公的研究費等の適正管理、及び、研究にかかるコンプライアンスに関する取組事例（令和 2～4 年度）を記す。

○公的研究費等の適正管理

※年 2 回、経理事務等に関する説明会のプログラム内で実施（15 分程度）

開催日	時間	場所
令和 2 年 6 月 26 日	13:30～ 16:00	きはだホール および Zoom のハイブリッド
令和 2 年 12 月 18 日	13:30～ 15:30	Zoom
令和 3 年 6 月 28 日	13:30～ 16:00	Zoom
令和 3 年 12 月 17 日	13:30～ 16:00	Zoom
令和 4 年 7 月 5 日	13:30～ 16:00	Zoom
令和 4 年 12 月 16 日	13:30～ 14:45	Zoom
令和 5 年 6 月 30 日	13:30～ 16:00	Zoom

○宇治地区 研究にかかるコンプライアンス講習会

開催日	時間	場所
令和 3 年 3 月 17 日	15:30～ 16:00	Zoom

○防災研究所 不正防止に関する全所集会

開催日	時間	場所
令和 4 年 2 月 22 日	17:00～ 17:10	Zoom
令和 5 年 2 月 22 日	16:30～ 16:45	きはだホール および Zoom のハイブリッド

2.2.5 その他委員会

厚生委員会は、防災研究所構成員（教員・事務職員・技術職員・学生）の福利厚生の一環として、文化・スポーツ・レクリエーション活動等の行事を毎年開催している。令和 4 年度は、文化事業 2 件、スポーツ事業 1 件、ならびにレクリエーション事業 1 件を実施した。文化事業では、園芸学がご専門の農学研究科の土井教授に案内いただき、園芸に関する専門的な知識を得ながら府立植物園の見学を実施した。

令和 4 年度

委員会名	委員構成					開催数
	教授	准教授	講師	助教	事務 (技術室)	
将来計画検討委員会（含む人事準備会）	15	0	0	0	2	11
フィールド研究拠点専門委員会	6	0	0	0	0	7
施設整備専門委員会	3	4	0	1	0	8
技術専門委員会	2	2	0	0	1	4
男女共同参画推進専門委員会	5	2	0	1	0	3
研究・教育委員会	6	0	0	0	3	11
教育専門委員会	2	1	0	0	0	2
図書専門委員会	2	3	0	0	0	3
DPRI シリーズ出版編集専門委員会	3	3	0	0	0	2
広報国際委員会	8	0	0	0	3	14
広報・出版専門委員会	2	9	0	2	5	1
行事推進専門委員会	5	5	1	2	7	7
国際交流専門委員会	3	3	0	0	0	36
情報基盤専門委員会	1	0	0	0	2	0
情報セキュリティ委員会	4	4	0	0	4	5
自己点検・評価委員会	2	4	0	0	3	6
業績評価委員会	2	0	0	0	0	0
厚生委員会	0	1	0	2	2	3
人権委員会	4	1	0	0	1	0
研究コンプライアンス推進委員会	5	0	0	0	1	0
財務委員会	5	0	0	0	1	6
放射線障害防止委員会	3	1	0	0	0	1
安全衛生委員会	4	0	0	1	3	8

所内委員会等委員名簿

(2022. 1. 1. 2 現在)

委員会名	委員名	任期
将来計画検討委員会(含む人事委員会)	☆森, 多々納, 岩田, 藤田, 藤谷, 堀, 井口(正), 王, 牧, 畑山, 榎本, 竹見, 大見 [※] , 田中 [※] , 川池 [※] , 森下(事), 岡本(事) [※]	2021. 4. 1~2023. 3. 31 [※] 2022. 4. 1~2023. 3. 31
フィールド研究拠点専門委員会	☆堀, 矢守, 牧, 藤田, 井口(正), 藤谷	2021. 4. 1~2023. 3. 31
施設整備専門委員会	☆藤田, 丸山, 堀, 為栗, 馬場, 宮田, 上田, 中野	2021. 4. 1~2023. 3. 31
技術専門委員会	☆藤谷, 澤田, 竹林, 中道, 吉川(技)	2021. 4. 1~2023. 3. 31 (総務課人事課)
男女共同参画専門委員会	☆森, 榎本 [幹事], 川池, Cruz, 関口, 佐山, 廣井, 宮下	2022. 8. 1~2023. 3. 31
研究・教育委員会	☆松島, 畑山, 池田, 岩田, 平石, 丸山, 森下(事), 岡本(事) [※] , 真田(推)	2021. 4. 1~2023. 3. 31 [※] 2022. 4. 1~2023. 3. 31
研究企画推進室	☆松島, 畑山, 王, 堀, 浅野, 西嶋, 佐山, 真田(推), 岡本(事) [※] , 中野(事) [※] , 村田(URA)	2021. 4. 1~2023. 3. 31 (研究課論文課) [※] 2022. 4. 1~2023. 3. 31
教育専門委員会	☆岩田, 藤見, 田中	2021. 4. 1~2023. 3. 31 (総務課総務課)
図書専門委員会	☆平石 [図書館協議員], 五十嵐, 廣井, 寺嶋, 上田 [※] [宇治分館運営委員]	2021. 4. 1~2023. 3. 31 (研究課学情課) [※] 2022. 4. 1~2024. 3. 31
DPRI シリーズ出版編集専門委員会	☆丸山, 矢守, Cruz, 伊藤, Kantoush, 山崎(新)	2021. 4. 1~2023. 3. 31
広報国際委員会	☆清岡, 牧, 榎本, 矢守, 王, 池田, 多々納, 角, 吉川(技), 佐伯(広), 森下(事)	2021. 4. 1~2023. 3. 31
広報・出版専門委員会	☆榎本, 関口 [※] , 吉田 [※] , 後藤 [※] , 土井, 丸山, 西野, 廣井, 宮澤, 片尾, 深畑, 西嶋, 宮下, 佐伯(広), James(広), 松浦(技・広), 稲田(広), 上道(事)	2021. 4. 1~2023. 3. 31 (総務課総務課) [※] 2022. 4. 1~2024. 3. 31
行事推進専門委員会	☆矢守 [研究発表講演会], 堀 [公開講座], 川池, 廣井 [※] [キャンパス公開], 竹門, Lahournat, 藤見, 浅野, 齊藤, 直井, 大見, 志村, 中本 [※] (技), 佐伯(広), James(広), 松浦(技・広), 稲田(広), 中野(事), 大西(事)	2021. 4. 1~2023. 3. 31 (研究課論文課) [※] 2022. 1. 1~2022. 12. 31 [※] 2022. 4. 1~2023. 3. 31
国際交流専門委員会	☆王, Cruz, 竹見, 山口, 後藤, 野田	2021. 4. 1~2023. 3. 31 (研究課国際課)
情報基盤専門委員会	☆池田, 吉川(技), 米田(技)	2021. 4. 1~2023. 3. 31 (総務課総務課)
世界防災研究所連合 (GADRI) 事務局	☆多々納 [GADRI 事務局長], 牧, Cruz, 角, 竹見, Samaddar, 藤見, 大西, 後藤, 深畑, 松四, 川池, 田中, Kantoush, 中野, 松浦(技・広), James(広), 竹辺(事)	2021. 4. 1~2023. 3. 31
情報セキュリティ委員会	☆所長, 吉村 [※] , 角 [情報セキュリティ技術責任者], 堀, 大西, 西村, 寺嶋, 吉田, 吉川(技), 山崎(技), 川崎(技), 岡本(事) [※]	2021. 4. 1~2023. 3. 31 [※] 2022. 4. 1~2023. 3. 31 [※] 2022. 4. 1~2024. 3. 31
自己点検・評価委員会 (含む外部評価)	☆吉村, 池田, 山口, 関口, 野田, 山崎(新), 山崎(技), 澤田(技), 森下(事)	2021. 4. 1~2023. 3. 31 (総務課総務課)
業績評価委員会	☆所長, 吉村, 榎本 (外部委員・前所長)	2022. 2. 10~2023. 3. 31
厚生委員会	☆竹林, 小柴, 山田(真史), 名田(技), 上道(事)	2022. 4. 1~2023. 3. 31 (庶務課)
人権委員会	☆所長, 飯尾, Cruz, 関口, 佐山, 廣瀬 (事務部長)	2021. 4. 1~2023. 3. 31
ハラスメント窓口相談員	Cruz, 関口, 佐山, 森下(事), 岡本(事) [※]	2021. 4. 1~2023. 3. 31 (総務課総務課) [※] 2022. 4. 1~2024. 3. 31
研究コンプライアンス推進委員会	☆畑山, 吉村 [※] , 飯尾, 澤田, 平石, 森下(事)	2021. 4. 1~2023. 3. 31 [※] 2022. 4. 1~2023. 3. 31
財務委員会	☆所長, 森, 松島, 清岡, 吉村, 森下(事)	2021. 4. 1~2023. 3. 31 (総務課財政課)
放射線障害防止委員会	☆所長, 吉村 [※] , 王, 松四	2021. 4. 1~2023. 3. 31 [※] 2022. 4. 1~2023. 3. 31
安全衛生委員会	☆所長, 吉村 [※] , 竹見 [※] [幹事], 吉川(技) [副幹事], 田中 [※] , 中野 [※] , 長岡 [※] (技), 上道(事)	2021. 4. 1~2023. 3. 31 [※] 2022. 4. 1~2023. 3. 31 [※] 2022. 10. 1~2023. 9. 30
衛生管理者資格保持者	総合防災G (牧, 畑山, 関口, 佐山, 中野), 地震・火山G (澤田, 松島, 吉村, 宮澤, 倉田, 伊藤, 野田, 為栗, 山崎(健), 山本(圭)), 地盤G (松四, 山崎(新), 齊藤, 土井), 大気・水G (角, 川池, 竹見, 馬場, 田中, 井口(敬), 山野井, 竹林), 技術室 (吉川, 三浦, 富阪, 松浦, 澤田, 山崎, 米田, 園田, 小松, 久保, 市田, 川崎, 中川, 長岡, 中本, 宮町)	
部局安全保障輸出管理担当者	所長 [部局安全保障輸出管理責任者], 王	2021. 4. 1~2023. 3. 31
奨学金運営委員会	☆所長, 松島, 岩田, 澤田	2021. 4. 1~2023. 3. 31
共同利用・共同研究拠点委員会	1号委員: 松島 [事務局長], 井口(正), 田中 [※] , 大見 [※] , 事務局: 畑山, 王, 堀, 浅野, 西嶋, 佐山, オブザーバー: 所長	2021. 4. 1~2023. 3. 31 (研究課論文課) [※] 2022. 4. 1~2024. 3. 31
自然災害研究協議会	1号委員: 澤田, 3号委員: 五十嵐 [総務], 角 [国際連携], 松四 [突発災害], 西野 [企画調査], 6号委員: 廣井 [※] , 畑山 [※] [データベース] オブザーバー: 所長, 松島 (研究・教育担当副所長)	2021. 4. 1~2023. 3. 31 (研究課方面) [※] 2022. 4. 1~2024. 3. 31
防災研究連携委員会 (防災研究フォーラム・防災研究ハブ幹事会)	所長, 多々納, 清岡, 森, 松島, 吉村	2021. 4. 1~2023. 3. 31
東大地震研・京大防災研 拠点間連携共同研究委員会	1号委員: 牧 [※] [委員長], 清岡, 大見, 大西, 西村 オブザーバー: 所長	[※] 2021. 4. 1~2023. 3. 31 2022. 4. 1~2024. 3. 31

(備考: ☆は委員長 かつ内の課・掛は宇治地区事務部の対応協力課・掛)

2.3 予算の変遷

(単位：千円)

年度 区分	初年度	昭和56年度	57年度	58年度	59年度	60年度
国立学校特別会計予算額	5,639	1,452,992	1,447,229	1,604,762	1,623,254	1,744,303
人件費	2,394	814,960	800,668	872,999	990,848	1,002,841
物件費	3,152	596,852	602,514	688,403	608,741	645,062
営繕費	93	41,180	44,047	43,360	23,665	96,400
科学研究費補助金	0	150,162	97,020	147,926	96,642	173,107
計	5,639	1,603,154	1,544,249	1,752,688	1,719,896	1,917,410

年度 区分	61年度	62年度	63年度	平成元年度	2年度	3年度
国立学校特別会計予算額	1,662,724	2,482,223	1,568,059	1,804,128	2,149,254	2,353,941
人件費	976,975	1,102,903	957,081	1,128,507	1,284,013	1,506,774
物件費	619,149	707,984	558,928	593,256	825,441	835,867
営繕費	66,600	671,336	52,050	82,365	39,800	11,300
科学研究費補助金	146,133	146,492	113,503	138,401	156,317	177,200
計	1,808,857	2,628,715	1,681,562	1,942,529	2,305,571	2,531,141

年度 区分	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
国立学校特別会計予算額	2,197,911	3,521,347	2,318,182	4,058,312	2,791,900	2,571,205
人件費	1,312,878	1,548,227	1,346,525	1,349,277	1,385,239	1,477,829
物件費	837,033	1,967,328	933,254	2,663,035	1,405,561	1,079,476
営繕費	48,000	5,792	38,403	46,000	1,100	13,900
科学研究費補助金	133,100	221,600	182,300	212,900	250,100	231,000
計	2,331,011	3,742,947	2,500,482	4,271,212	3,042,000	2,802,205

年度 区分	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
国立学校特別会計予算額	2,476,604	2,382,222	2,510,565	2,530,143	2,435,081	2,340,243
人件費	1,492,972	1,477,544	1,589,034	1,702,589	1,611,983	1,527,295
物件費	944,690	872,148	913,998	806,733	815,098	809,060
営繕費	38,942	32,530	7,533	20,821	8,000	3,888
科学研究費補助金	257,781	308,676	263,180	219,500	224,900	248,400
計	2,734,385	2,690,898	2,773,745	2,749,643	2,659,981	2,588,643

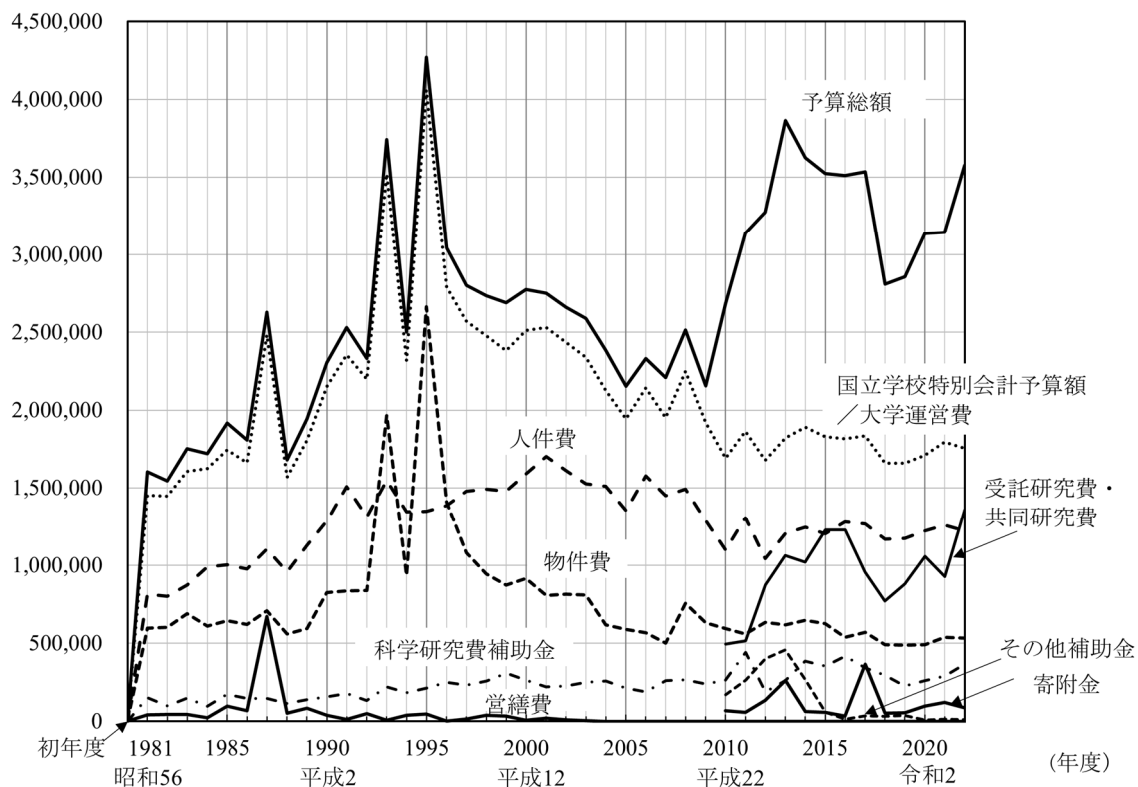
年度 区分	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
国立学校特別会計予算額	2,126,120	1,942,384	2,143,004	1,950,987	2,248,895	1,918,545
人件費	1,509,566	1,353,384	1,577,004	1,449,987	1,492,098	1,287,849
物件費	616,554	589,000	566,000	501,000	756,797	630,696
営繕費	0	0	0	0	0	0
科学研究費補助金	257,500	212,000	189,300	259,110	265,200	238,090
計	2,383,620	2,154,384	2,332,304	2,210,097	2,514,095	2,156,635

年度 区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
運営費交付金予算額	1,690,832	1,862,960	1,678,657	1,821,466	1,891,171	1,828,777
人件費	1,097,671	1,304,999	1,043,967	1,204,843	1,244,096	1,202,326
物件費	593,161	557,961	634,690	616,623	647,075	626,451
営繕費	0	0	0	0	0	0
科学研究費補助金	262,120	440,390	188,750	261,600	385,609	352,873
受託研究費・共同研究費	495,391	514,564	872,859	1,063,866	1,019,302	1,226,920
寄附金	66,974	57,936	133,263	260,763	61,690	56,935
その他の補助金	169,173	263,558	401,266	456,056	267,395	57,217
計	2,684,490	3,139,408	3,274,795	3,863,751	3,625,167	3,522,722

年度 区分	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度
運営費交付金予算額	1,816,579	1,835,646	1,659,469	1,658,816	1,710,683	1,793,892
人件費	1,279,742	1,265,541	1,168,358	1,172,665	1,219,617	1,257,048
物件費	536,837	570,105	491,111	486,151	491,066	536,844
営繕費	0	0	0	0	0	0
科学研究費補助金	417,970	341,950	295,935	224,663	259,141	289,690
受託研究費・共同研究費	1,227,236	957,311	770,261	879,749	1,058,131	926,978
寄附金	33,526	365,864	51,457	54,783	97,343	119,787
その他の補助金	14,152	34,613	31,720	37,812	9,485	12,638
計	3,509,463	3,535,384	2,808,842	2,855,823	3,134,783	3,142,985

年度 区分	4年度
運営費交付金予算額	1,753,600
人件費	1,219,782
物件費	533,818
営繕費	0
科学研究費補助金	367,126
受託研究費・共同研究費	1,360,367
寄附金	85,519
その他の補助金	11,300
計	3,577,912

(単位：千円)



- 1) 平成 15 年度までの「国立学校特別会計予算額」は、平成 16 年の国立大学法人化以降は「大学運営費予算額」とした。それらは、「人件費」、「物件費」および「営繕費」の合計である。
- 2) 平成 16 年度以降、営繕に係る費用は「物件費」に含む。
- 3) 平成 22 年度以降、60 年史には掲載されていない「受託研究費・共同研究費」、「寄附金」および「その他の補助金」の受入額を追加した。
- 4) 「受託研究費・共同研究費」には、受託事業費と共同事業費も含まれる。

2.4 隔地観測所・実験所

地震予知研究センター

Research Center for Earthquake Prediction

- A** 上宝観測所 Kamitakara Observatory
〒506-1317 岐阜県高山市上宝町本郷 2296-2
Tel. 0578-86-2350
- B** 北陸観測所 Hokuriku Observatory
〒516-0034 福井県鯖江市下新庄町 88 下北山 29
- C** 逢坂山観測所 Osakayama Observatory
〒520-0054 滋賀県大津市逢坂 1
- D** 屯鶴峯観測所 Donzurubo Observatory
〒639-0252 奈良県香芝市穴虫 3280-2
- E** 鳥取観測所 Tottori Observatory
〒680-0004 鳥取県鳥取市北園 1 丁目 286-2
- F** 宮崎観測所 Miyazaki Observatory
〒889-2161 宮崎県宮崎市加江田 3884
Tel. 0985-65-1161
- G** 阿武山観測所 Abuyama Observatory
〒569-1041 大阪府高槻市奈佐原 944
Tel. 072-694-8848
- H** 徳島観測所 Tokushima Observatory
〒779-3233 徳島県名西郡石井町石井 2642-3

火山活動研究センター

Sakurajima Volcano Research Center

- I** 桜島火山観測所 Sakurajima Volcanological Observatory
〒506-1317 岐阜県高山市上宝町本郷 2296-2
Tel. 0578-86-2350

斜面災害研究センター

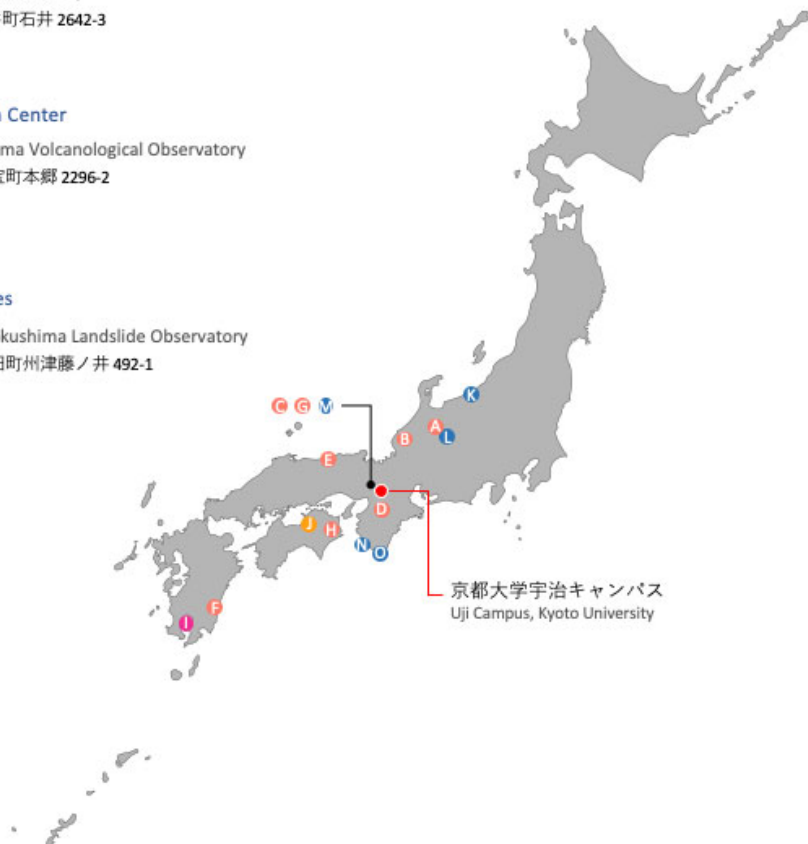
Research Center on Landslides

- J** 徳島地すべり観測所 Tokushima Landslide Observatory
〒778-0020 徳島県三好市池田町津藤ノ井 492-1
Tel. 0883-72-1075

流域災害研究センター

Research Center for Fluvial and Coastal Disasters

- K** 大瀧波浪観測所 Ogata Wave Observatory
〒949-3111 新潟県上越市大瀧区四ッ屋浜 578-2
Tel. 075-611-0520
- L** 穂高砂防観測所 Hodaka Sedimentation Observatory
〒506-1422 岐阜県高山市奥飛騨温泉郷中尾 436-13
Tel. 0578-89-2154
- M** 宇治川オープンラボラトリー Ujigawa Open Laboratory
〒612-8235 京都府京都市伏見区横大路下三栖東ノ口
Tel. 075-611-4391
- N** 白浜海象観測所 Shirahama Oceanographic Observatory
〒649-2201 和歌山県西牟婁郡白浜町堅田 2500-106
Tel. 0739-42-4352
- O** 潮岬風力実験所 Shionomisaki Wind Effect Laboratory
〒649-3502 和歌山県東牟婁郡串本町潮岬 3349-134
Tel. 0735-62-0693



2.5 研究環境整備・助成事業

所長裁量経費による研究環境整備や若手・女性研究者、国際的活動への助成事業について、本号より記載する。それに伴い、本号では過去の採択事業（令和元年度より）について補足記載している。

2.5.1 研究環境整備事業採択一覧

令和元年度

部門・センター	申請者	施設・機器名 (整備内容)
地震防災研究部門	大見 士朗	上宝観測所・蔵柱観測室観測坑道出入口扉 (修繕)
地震予知研究センター	飯尾 能久	阿武山観測所・本館 (外壁改修およびシャワー室漏水修繕工事)
火山活動研究センター	井口 正人	郡山観測室・電灯設備 (改修工事)
地盤災害研究部門	松四 雄騎	可燃性・助燃性ガスボンベ保管庫 (設置工事)
気象・水象災害研究部門	丸山 敬	境界層風洞実験室・風洞設備制御盤 (修理)
気象・水象災害研究部門	堀口 光章	宇治川 OL・局地異常気象観測解析装置 (再塗装工事)
気象・水象災害研究部門	堀口 光章	宇治川 OL・局地異常気象観測解析装置 (機器の保守点検および露場整備)
流域災害研究センター	平石 哲也	宇治川 OL 第 3 実験棟・天井走行クレーン (昨年の地震でゆがんだ支柱の修理)
流域災害研究センター	馬場 康之	白浜海象観測所・観測船(海象) (補修・整備)
流域災害研究センター	中川 一	宇治川 OL 第一実験棟内・雨水流出実験装置 (制御弁更新工事)
流域災害研究センター	宮田 秀介	穂高砂防観測所・敷地 (立ち木伐採)
流域災害研究センター	吉田 聡	潮岬風力実験所本館・ガレージ (箱樋設置工事)

令和 2 年度

部門・センター	申請者	施設・機器名 (整備内容)
地震災害研究部門	岩田知孝	S214 (壁断熱改修)
地震防災研究部門	吉村令慧	B-4・ 広帯域電磁場観測装置 (MT 法観測装置)
地震予知研究センター	澁谷拓郎	宮崎観測所 (ドア修繕およびエアコン設置)
火山活動研究センター	中道治久	口永良部島火山観測所 (プレハブドア修理)

火山活動研究センター	井口正人	火山活動研究センター本館 (雨漏り改修工事)
火山活動研究センター	井口正人	ハルタ山観測室および黒神観測室・建具
地盤災害研究部門	渦岡良介	遠心力載荷試験装置 (シャッター取替工事)
地盤災害研究部門	松四雄騎	E105D・局所排気装置(ドラフトチャンバー) スクラバ一部
斜面災害研究センター	釜井俊孝	リングせん断6号機 (機能追加)
斜面災害研究センター	釜井俊孝	地震時地すべり再現試験機(6号機)
斜面災害研究センター	山崎新太郎	徳島地すべり観測所本館・空調設備
気象・水象災害研究部門	堀口光章	宇治川 OL・局地異常気象観測解析装置 (鉄塔腐食防止に伴う再塗装)
気象・水象災害研究部門	堀口光章	宇治川 OL・局地異常気象観測解析装置 (機器の保守点検および露場整備)
気象・水象災害研究部門	丸山敬	風況観測用ドップラーライダ DIABREZZA
気象・水象災害研究部門	堀口光章	宇治川 OL・局地異常気象観測解析装置
気象・水象災害研究部門	西嶋一欽	境界風洞実験室・3Dプリンタ、射出成形機
流域災害研究センター	中川 一	宇治川 OL・実物大階段模型 (フート弁更新工事)
流域災害研究センター	馬場康之	白浜海象観測所本館 (樹木伐採)
流域災害研究センター	吉田 聡	潮岬風力実験所・プロペラ型風向風速計 (更新および測器取付部材改修工事)
流域災害研究センター	宮田秀介	穂高観測所・積雪深計 (設置用設備更新)
流域災害研究センター	中川一	宇治川 OL・構内植栽管理

令和 3 年度

部門・センター	申請者	施設・機器名 (整備内容)
社会防災研究部門	境 有紀	強震応答実験棟・強震応答実験装置更新および錠前交換
地盤災害研究部門	上田 恭平	遠心力載荷実験室・遠心力載荷装置オーバーホール
地盤災害研究部門	松四 雄騎	地質分析室 (E105D) ・二重扉化
地盤災害研究部門	上田 恭平	遠心力載荷実験室 (屋根修繕)
地震防災研究部門	大見 士朗	上宝観測所および徳高砂防観測所・VPN ルータ (調達)
地震防災研究部門	倉田 真宏	震耐構造実験室・オンラインハイブリッド載荷装置 (既存ライブラリ改訂)
地震防災研究部門	吉村 令慧	本館北棟・広帯域電磁場観測装置 (導入)
地震予知研究センター	飯尾 能久	阿武山観測所・本館 1 F 廊下壁 (補修)
地震予知研究センター	澁谷 拓郎	宮崎観測所・空調設備 (改修)
火山活動研究センター	井口 正人	黒神観測室・電気設備 (改修)
火山活動研究センター	爲栗 健	桜島火山観測所・防犯監視カメラ (設置)
斜面災害研究センター	山崎 新太郎	徳島地すべり観測所本館・ブラインド設置
斜面災害研究センター	山崎 新太郎	徳島地すべり観測所本館東研修室・工作室 (整備)
気象・水象災害研究部門	堀口 光章	宇治川オープンラボラトリー・局地異常気象観測解析装置 (点検)
流域災害研究センター	川池 健司	宇治川オープンラボラトリー・ (産業廃棄物撤去)
流域災害研究センター	平石 哲也	宇治川オープンラボラトリー・ 4.5 m 多目的造波水路 (波浪解析装置更新)
気象・水象災害研究部門	丸山 敬	風況観測用ドップラーライダ DIABREZZA

気象・水象災害研究部門	堀口 光章	宇治川 OL・局地異常気象観測解析装置塗装
流域災害研究センター	平石 哲也	宇治川 OL・津波再現水槽制御部更新
流域災害研究センター	川池 健司	宇治川 OL・監視カメラ設置および東門の整備
流域災害研究センター	吉田 聡	潮岬有力実験所・常時観測温湿度計全面交換
流域災害研究センター	馬場 康之	白浜海象観測所・田辺中島高潮観測塔修繕
流域災害研究センター	宮田 秀介	穂高・上宝観測所・メディアコンバータ調達

令和 4 年度

部門・センター	申請者	施設・機器名 (整備内容)
社会防災研究部門	境 有紀	強震応答実験棟 強震応答実験室天井灯交換
社会防災研究部門	境 有紀	強震応答実験棟 強震応答実験装置浄油作業及びフィルタ交換
巨大災害研究センター	土佐 尚子	総合研究 17 号館 151 号室・AV 設備撤去
地震予知研究センター	飯尾 能久	阿武山観測所・本館 1F 廊下壁 (補修)
地震予知研究センター	大見 士朗	上宝観測所および穂高砂防観測所・VPN ルータ (調達)
地震予知研究センター	澁谷 拓郎	宮崎観測所・宿直室改修
地震災害研究センター	大見 士朗	焼岳の研究監視観測のための空振計調達
地震災害研究センター	飯尾 能久	阿武山観測所・舗装補修工事
地震災害研究センター	澁谷 拓郎	宮崎観測所・排水機能回復
火山活動研究センター	井口 正人	桜島火山観測所・テレメータ室空調設備修繕および取付
火山活動研究センター	為栗 健	桜島火山観測所・黒神ポンプ室の解体撤去
火山活動研究センター	為栗 健	吉松観測室および観測坑道 A、B、C における電気設備改修および扉、フェンス改修工事

気象・水象災害研究部門	丸山 敬	風況観測用ドップラーライダ DIABREZZA
地盤災害研究部門	松四 雄騎	E105D 地質分析室・ドラフトチャンバー付属スクラバー給水配管修繕
地盤災害研究部門	上田 恭平	遠心力载荷実験室・恒温器購入
斜面災害研究センター	山崎 新太郎	徳島地すべり観測所 倉庫・本館・観測棟の不要物品撤去
斜面災害研究センター	王 功輝	斜面災害研究センター・高圧リングせん断試験機システム修理
斜面災害研究センター	山崎 新太郎	徳島地すべり観測所・象観測ステーション一部整備
気象・水象災害研究部門	堀口 光章	宇治川オープンラボラトリー・局地異常気象観測解析装置保守点検
流域災害研究センター	川池 健司	宇治川オープンラボラトリー・電力監視装置の更新
流域災害研究センター	馬場 康之	潮岬風力実験所 倉庫（旧官舎）・建物撤去費用
流域災害研究センター	馬場 康之	白浜海象観測所・観測船「海象」補修
流域災害研究センター	宮田 秀介	穂高砂防観測所・伐採作業
流域災害研究センター	平石 哲也	宇治川オープンラボラトリー・多目的造波水路改修
流域災害研究センター	馬場 康之	白浜海象観測所・観測船「海象」修理およびメンテナンス
流域災害研究センター	宮田 秀介	穂高砂防観測所・雨天作業所 解体および改築
流域災害研究センター	川池 健司	【宇治川ラボ】宇治川オープンラボラトリー・産業廃棄物の撤去

2.5.2 女性・若手研究者支援採択一覧

令和元年度

部門・センター	申請者	職名 学修課程	事業名
社会防災研究部門	長嶋 史明	特定助教	英文翻訳助成
社会防災研究部門	伊藤 恵理	特定研究員	英文校閲助成
巨大災害研究センター	大門 大朗	JSPS 特別研究員	英文校閲助成
地震防災研究部門	山田 真澄	助教	論文掲載助成
地震予知研究センター	津田 寛大	博士後期課程	論文掲載助成
地震予知研究センター	片上 智史	博士後期課程	論文掲載助成
地盤災害研究部門	Adapa Gautham	博士後期課程	英文校閲助成
地盤災害研究部門	渡壁 卓磨	博士後期課程	英文校閲助成

令和 2 年度

部門・センター	申請者	職名 学修課程	事業名
社会防災研究部門	伊藤恵理	特定研究員	論文掲載助成
社会防災研究部門	Huan Liu	D3	論文掲載助成
巨大災害研究センター	中野元太	助教	国際ジャーナル論文オープン アクセス化助成
巨大災害研究センター	朴慧晶	研究員	英文校閲助成
地震防災研究部門	山田真澄	助教	英文校閲助成
地震防災研究部門	新本翔太	D3	論文出版支援
地震災害研究部門	SUN JIKAI	D3	論文出版助成
火山活動研究センター	山田大志	助教	英文校閲費助成
地盤災害研究部門	上田恭平	助教	論文掲載助成
斜面災害研究センター	土井一生	助教	論文掲載助成
水資源環境研究センター	Doan Van Binh	研究員	論文印刷製本
水資源環境研究センター	小柴孝太	非常勤研究員	論文掲載助成
水資源環境研究センター	Karim I. Abdrabo	D1	論文投稿助成

令和 3 年度

部門・センター	申請者	職名 学修課程	事業名
地震防災研究部門	鈴木 健士	研修員	論文出版
地震予知研究センター	山下 裕亮	助教	論文掲載・英文校閲助成

令和 4 年度

部門・センター	申請者	職名 学修課程	事業名
社会防災研究部門	Huan LIU	特定助教	論文英文校閲
巨大災害研究センター	大門 大朗	JSPS 特別研究員	論文掲載助成
地震防災研究部門	新本 翔太	D3	論文掲載助成
地震災害研究センター	佐脇 泰典	D3	英文校閲費助成

2.5.3 博士学位論文支援採択一覧

令和元年度

データなし

令和 2 年度

部門・センター	申請者	学修課程	事業名
社会防災研究部門	Huan Liu	D3	英文校閲
巨大災害研究センター	岡田夏美	特定研究員	製本
巨大災害研究センター	杉山高志	特定研究員	製本
巨大災害研究センター	具本 峻	D3	英文校閲
巨大災害研究センター	駱曉龍	D3	製本
地震災害研究部門	Sun Jikai	D3	製本
地震災害研究部門	Chakraborty Anirban	D3	製本
水資源環境研究センター	Try Sophal	D3	製本

令和 3 年度

部門・センター	申請者	学修課程	事業名
巨大災害研究センター	松原 悠	D3	製本
気象・水象災害研究部門	福井信気	D3	製本

令和 4 年度

部門・センター	申請者	学修課程	事業名
地震災害研究センター	井上 智裕	D3	製本
地震災害研究センター	佐脇 泰典	D3	製本

2.5.4 国際交流・国際共同研究事業採択一覧

令和元年度

部門・センター	申請者	事業名	MOU (有無)
社会防災研究部門	牧 紀男	「日米の先進事例に学ぶマルチハザード型の事前復興計画策定に向けたシンポジウム」の開催	無
社会防災研究部門	多々納裕一	災害・環境リスクの下での都市・地域の持続可能な発展に関する日中セミナーの開催	有
巨大災害研究センター	Cruz Ana Maria	Cross-cultural Study on Citizens' Communicative Behaviour towards Chemical and Natech Risk Information Disclosure	無
巨大災害研究センター	Cruz Ana Maria	5th International Natech Symposium and Multi-stakeholder Workshop	有
地震災害研究部門	松島 信一	ライフラインの地震リスク評価手法の高度化に関するフランス地質調査所 (BRGM) と国際共同研究	有
地震防災研究部門	大見 士朗	ブータンヒマラヤ脊梁部直下の地殻活動の研究	有
地震防災研究部門	大志万 直人	北アトリア断層帯中部域沿いでの断層構造不均質性理解のための微小地震観測研究の立ち上げ	無
地震予知研究センター	伊藤 喜宏	ニュージーランドのヒ克蘭ギ沈み込み帯における海底圧力観測	有
地震予知研究センター	澁谷 拓郎	国際的な活躍が期待できる研究者の育成事業	-
地震予知研究センター	伊藤喜宏	NZ3D 計画ワークショップへの参加	有
地盤災害研究部門	松四 雄騎	ネパールヒマラヤにおける流域土砂災害の履歴復元と減災方策の検討	有
地盤災害研究部門	松四雄騎	マレーシアキナバル山周辺における地形の発達過程と土砂災害の発生履歴の復元に関する共同研究	有
斜面災害研究センター	山崎 新太郎	水底地すべりの発生場解明のための科学掘削共同研究	無
気象・水象災害研究部門	西嶋 一欽	バヌアツ共和国の伝統的サイクロンシェルタ建設持続可能性評価に関する調査研究	無
気象・水象災害研究部門	森 信人	台湾国立防災科学センターとの連続ワークショップの開催	有

令和2年度

新型コロナウイルス感染拡大の影響により公募無し

令和3年度

新型コロナウイルス感染拡大の影響により公募無し

令和 4 年度

部門・センター	申請者	事業名	MOU (有無)
GADRI 事務局	多々納 裕一	第 6 回世界防災研究所連合サミットへの学生招へいプログラム	無
巨大災害研究センター	Cruz Ana Maria	Understanding Natech Risk Perception and Protection Motivation among Supply Chain Managers: Evidence from Colombia.	無
地震災害研究部門	松島 信一	微動の方位依存性に関する台湾国立成功大学との国際共同研究	無
地震防災研究部門	吉村 令慧	トルコ・北アナトリア断層周辺での地下構造調査および地震観測網構築	無
地震予知研究センター	大見 士朗	ブータンヒマラヤ脊梁部直下の地殻活動の研究	有
地震予知研究センター	山下 裕亮	ニュージーランド・ヒ克蘭ギ沈み込み帯におけるスロー地震の国際共同海底観測	有
地盤災害研究部門	松四 雄騎	大規模斜面崩壊による河道閉塞の発生年代の推定: 中部ヒマラヤにおける堰止湖の形成史復元	無
地盤災害研究部門	上田 恭平	室内土質試験の世界展開に向けたブリティッシュコロンビア大学 (カナダ) とのネットワーク構築	有

2.6 表彰

2.6.1 DPRI Award 授賞式

日時：2022 年 12 月 1 日(木) 9:30～11:00

場所：京都大学宇治キャンパス おうばくプラザ きはだホール

プログラム：

9:15 開場

9:30 開会の挨拶 中北所長

9:35 授賞説明 松島副所長

9:40 表彰状の授与

9:45 受賞記念講演

ジェームス・デニス・ゴルツ博士

日本学術振興会外国人招聘研究者

(コロラド大学ボルダー校・行動科学研究所・自然災害センター

／Natural Hazards Center, Institute of Behavioral Science, University of Colorado, Boulder)

10:30 質疑応答

10:45 閉会の挨拶 渦岡副所長

10:50 閉会

2.6.2 京都大学防災研究所 研究発表講演会 優秀発表賞

研究発表講演会の一般講演・ポスターセッションの若手研究者による発表の中から特に優れた発表を「優秀発表賞」として表彰

発表番号	発表者	発表題目
A102	西沢貴志	島弧の重力異常と沈み込み帯の各種パラメーターとの関係
A103	野末陽平	スパースモデリングを用いた測地データの解析による歪み速度場の推定
B108	澤田尚樹	海鳥バイオロギングで推定した海上風のアンサンブルデータ同化
B201	原田茉知	150年連続ランを用いた梅雨期極端降雨及び前線構造の将来変化に関する物理的解析
B205	岡田智晴	海洋モデルの結合および気候変動が及ぼす、MRI-AGCM気候計算における台風への影響評価
C108	斎藤芳樹	気候変動を踏まえた氾濫リスクの将来変化に関する研究
C201	大西左海	円山川の超過洪水時におけるリスク軽減のための氾濫誘導に関する研究
D104	Rongguang YU	Effects of Temperature on Hydraulic and Buffering Performances of Soil-bentonite Mixture
D211	馬場俊明	花崗岩山地の隣接源流域における土層発達および降雨流出過程の比較研究
E208	藤田翔乃	映像解析を用いた災害対応における建物被害把握システムの開発
P07	井上智裕	海底圧力計と陸上GNSSを用いたヒクラング及び南海沈み込み帯浅部におけるスロースリップイベントの検知
P24	太田義将	宇宙線生成核種を用いた山地流域の地形発達過程の復元と定量的検証：近畿三角帯西部の山地を対象として

2.7 自然災害協議会

自然災害研究協議会は、全国の防災関連研究機関・研究者のネットワークを通じて、研究者の連携による自然災害研究推進を目的とした様々な活動を行っている。年 3 回の協議会を開催して重要事項を審議するほか、下記の事業を推進している。

1) シンポジウム等の開催

自然災害の調査研究の成果発表の場として、各種の研究集会等を開催している。本部の主要行事としては、自然災害科学総合シンポジウムを毎年開催している。

・第 59 回 自然災害科学総合シンポジウム

2022 年 9 月 26 日：ハイブリッド開催（防災研究所連携研究棟大セミナー室および Zoom）

災害調査報告 6 件，研究報告 1 件，参加者 85 名

・河川災害に関するシンポジウム（土木学会水工学委員会との共催）

2023 年 2 月 24 日：オンライン開催

参加者：332 名

・2023 年トルコ・シリア地震現地調査速報会（愛媛大学理工学研究科社会インフラメンテナンス工学講座との共催）

2023 年 3 月 15 日：ハイブリッド開催（愛媛大学北キャンパスおよび Zoom）

参加者：300 名

2) 突発災害調査の実施（特別研究促進費）

突発災害発生時に調査研究チームを結成し、科学研究費補助金特別研究促進費の申請とその助成に基づく調査研究を実施している。調査成果は上記の自然災害科学総合シンポジウムでの講演発表を通じて情報共有を図っている。

・トンガ海底火山噴火とそれに伴う津波の予測と災害に関する総合調査

研究代表者：佐竹健治（東京大学教授）

※令和 3 年度より継続

・能登半島北東部において継続する地震活動に関する総合調査

研究代表者：平松良浩（金沢大学教授）

・2023 年トルコ南部の地震と災害に関する総合調査

研究代表者：楠浩一（東京大学教授）

3) 突発災害調査研究支援

京都大学防災研究所共同利用・共同研究拠点重点推進型共同研究に基づく突発災害発生時の研究者による初動調査やその後の継続的調査等の支援を実施している。

・令和 5 年 2 月トルコ南部地震災害

4) 防災研究情報の共有環境整備

・災害資料データベース SAIGAI の管理

・メーリングリストによる自然災害研究者ネットワークの整備

5) 国際展開調査

・世界防災研究所連合 GADRI との連携